

ホームステイ受入

本学が受け入れている交換留学生及びグローバル学生交流で来学した留学生に、日本の一般家庭での生活を体験してもらうため、定期的にホームステイを実施しています。受入ホストファミリーは、原則として広く一般から公募し、登録していただいた上で、受け入れをお願いしていますが、素晴らしい異文化交流体験が含まれていることから、自宅通学の学生に限定して、ホストファミリーの登録を受け付けています。ご家族の協力は不可欠ですが、なかなか得難い異文化交流体験をするために、ぜひ1人でも多くの学生に応募していただきたいと思います。

対象学生
全学部
全学年

※一人暮らし先の
受入は不可

実施時期

5月中～下旬
6月末
10月下旬



ホストファミリー
申込フォーム

登録可能地域

山口県内

登録時期

随時

ホームステイ受入体験記

福井 真帆さん

留学生の ホームステイ受入を経験して

初めて我が家にやってきたのは、韓国人の女の子でした。最初、子供達は緊張している様子でしたが、優しいお姉さんに、直ぐに心を開いて、どこに行くのも手を繋いだり、一緒に写真を撮ったりしていました。私は仕事の休みが取れなかったため、夫が子供達二人と、留学生を連れて、色々な所に行ってくれました。夫は、留学生に心を開いてもらおうと、沢山話しかけて、慣れない気遣いをしたようで、最終日は疲れ切っていました(笑)。2泊3日という限られた時間では、大人の私達には、完全に心を開いてはくれませんでした。娘とは、本当の姉妹のように、とても仲良くなってくれました。今後もこのご縁を大切に、家族で交流を続けていきたいと思っています。また、留学生を通して、韓国が大好きになりました。来年の夏には、家族で留学生に会いに、韓国に行く予定です。ホストファミリーを経験して、本当に良かったと、この素敵な出会いに感謝しております。

ホームステイ受入に応募した理由

子供達に国際交流を通して、文化の違いを学び、国籍に関係なく、人に平等に接することができる、平和的思考を持った人になってほしいと思ったため。

また、私自身短期と長期で留学経験があり、ホストファミリーには大変お世話になったため、恩返しの意味も込めて、留学生を受け入れたいと思いました。そして留学生の気持ちに寄り添えることができると思ったためです。



Q 最も印象深い出来事は？

A 事前にいただいた、留学生の紹介文の中に、焼きそばが食べたい、と書かれていました。日本人の感覚で、焼きそば？簡単に作れるよ、と思っていたのですが、初日に自宅で作ってあげたところ、美味しい、美味しい、と写真を撮って、とても喜んでくれました。お別れパーティーでのスピーチでも、留学生は思い出の一つに、焼きそばの話をしていました。手が込んだものではありませんでしたが、本人が食べたいと言っていた、希望の物を作ってあげて良かったと思いました。

Q ハプニングや失敗談があれば教えてください

A 留学生に喜んでもらいたくて、北九州にあるアウトレット、宇部のドンキ・ホーテ、百均、マンガ倉庫、五重塔や温泉と、様々な場所へ夫が車で連れて行きました。長時間の運転で、疲れがでていた夫でしたが、留学生に、一番喜んでくれたところは、防府であっお盆のお祭りでした。夫婦で拍子抜けしたのも、良い思い出です。県外に連れて行かなくても、十分に喜んでもらえますし、日本でしかできない体験が、留学生の思い出に残ってくれるのだと学びました。

Q ホームステイ受入経験のない方へのアドバイスをお願いします

A 期間が2泊3日と短いため、共働き家庭でも参加しやすいプログラムだと思います。お子さんがいらっしゃるご家庭は、子供にとって、留学生と過ごす時間は、楽しく、沢山の学びに溢れています。娘は留学生とのお別れの際には、涙が止まりませんでした。国際化が進む今日、日本に居ながら、子供が様々な国の人達と出会い、共に時間を過ごせるホストファミリーは、子供の視野を広げ、国際感覚を身に着ける良い機会になると思います。大人にとっても、新しい出会いは刺激的で、楽しい時間でした。次はどんな出会いがあるのか楽しみです。ぜひ、素敵な出会いと一緒に楽しみましょう。